

## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東  
コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 孝志  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部部长(氏名) 早川 恵 (TEL) 048-798-0222  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	1,529	—	△117	—	△118	—	△134	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △134百万円(—％) 2024年3月期第3四半期 ー百万円(—％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△15.27	—
2024年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	3,108	1,543	49.6
2024年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,542百万円 2024年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期の数値を記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,379	—	74	—	68	—	78	—	8.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) 株式会社クラウドサー、除外 ビス 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	10,045,544株	2024年3月期	9,417,525株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	632,155株	2024年3月期	632,155株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	8,796,789株	2024年3月期3Q	8,785,374株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	8
3. 補足事項	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化やインバウンド需要の拡大に支えられ、緩やかに回復基調が続いております。一方で、世界経済においては、不安定な国際情勢の中、インフレの進行、エネルギー価格の高騰が続いており、さらに日本国内では、樹脂材料、鋼材等材料価格の高騰、円安の長期化による輸入価格上昇、継続的な物価上昇による消費停滞の懸念など、依然として先行きの見通しにくい経済環境が続いております。

当社が関係するプラスチック加工業界は、今後益々の合理化を進め、競争力を高めなければなりません。当社としても更なる省エネルギー、省力化の製品の開発を提案して行く方向にあります。

これらを受けて、当社成形ユーザーの省力化・省人化ニーズに対応するための新製品開発及び新たな事業分野を当社事業に取り込むため、システム開発会社である株式会社クラウドサービスを買収し子会社としました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における売上高は、上記の厳しい市場の影響を受けながらもインフレーション成型機事業、ブロー成型機事業は予定されていた成型機の売上計上が順調に進みましたが、リサイクル事業につきましては、大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高15億2千9百万円、利益面につきましては、営業損失1億1千7百万円、経常損失1億1千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、1億3千4百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、31億8百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が11億8千3百万円、受取手形及び売掛金が4億2千9百万円、電子記録債権が2億1千4百万円、製品が8百万円、仕掛品が2億6千7百万円、原材料及び貯蔵品が7千6百万円、有形固定資産が5億8千万円であります。

負債につきましては、15億6千5百万円となりました。主な内訳は、買掛金が1億4千万円、借入金が11億4千8百万円であります。

純資産につきましては、15億4千3百万円となりました。主な内訳は資本金が8億1千9百万円、資本剰余金が4億2千7百万円、利益剰余金が4億1千4百万円、自己株式が△2億1千9百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年3月期(2024年4月1日から2025年3月31日)第3四半期より、従来の単体決算から連結決算に移行いたしました。2025年3月期通期の連結業績予想を開始するとともに、2024年11月8日に公表いたしました2025年3月期通期の個別業績予想を取り下げることいたしました。

連結決算開始に伴う連結業績予想の公表について

## ①連結決算の開始について

当社は、2024年11月14日に公表いたしました「簡易株式交換による株式会社クラウドサービスの完全子会社化に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社クラウドサービスの全株式を取得し、連結子会社としたため、2025年3月期第3四半期より連結決算を開始いたしました。このため、新たな数値を予想し、本日公表しています。

## ②2025年3月期通期連結業績予想数値(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
通期	2,379	74	68	78	8.87

(注)2024年3月期は連結決算を行っていないため、対前年増減率を記載していません。

③連結業績予想の概要

上記の連結業績予想は、連結対象となる株式会社クラウドサービスの2024年12月から2025年2月までの3か月の業績予想を織り込んだ数値であります。

今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、配当予想につきましては連結業績予想を考慮した結果、年間配当金6.00円とさせていただきます。

(注)上記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予定数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,183,766
受取手形及び売掛金	429,625
電子記録債権	214,815
製品	8,524
仕掛品	267,271
原材料及び貯蔵品	76,308
その他	165,510
貸倒引当金	△18,977
流動資産合計	2,326,844
固定資産	
有形固定資産	
土地	268,000
その他(純額)	312,051
有形固定資産合計	580,051
無形固定資産	
のれん	99,752
その他	4,929
無形固定資産合計	104,682
投資その他の資産	
その他	110,612
貸倒引当金	△13,280
投資その他の資産合計	97,332
固定資産合計	782,067
資産合計	3,108,911
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	140,288
短期借入金	190,836
前受金	58,025
製品保証引当金	6,790
賞与引当金	8,519
その他	112,046
流動負債合計	516,506
固定負債	
長期借入金	958,084
退職給付に係る負債	18,911
その他	71,816
固定負債合計	1,048,811
負債合計	1,565,318

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2024年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	819,735
資本剰余金	427,554
利益剰余金	414,434
自己株式	△219,426
株主資本合計	1,442,297
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	5,397
土地再評価差額金	94,655
その他の包括利益累計額合計	100,053
新株予約権	1,242
純資産合計	1,543,593
負債純資産合計	3,108,911

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	1,529,942
売上原価	1,173,494
売上総利益	356,448
販売費及び一般管理費	474,165
営業損失(△)	△117,717
営業外収益	
受取手数料	5,753
受取保険金	239
受取地代家賃	4,298
利子補給金	810
その他	1,817
営業外収益合計	12,919
営業外費用	
支払利息	11,524
為替差損	854
株式交付費	90
その他	858
営業外費用合計	13,327
経常損失(△)	△118,124
特別損失	
投資有価証券売却損	1,020
固定資産除却損	1,083
特別損失合計	2,104
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,229
法人税、住民税及び事業税	4,222
法人税等調整額	9,905
法人税等合計	14,128
四半期純損失(△)	△134,358
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134,358



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△134,358
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	356
その他の包括利益合計	356
四半期包括利益	△134,001
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,001

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	52,710	6.00	2024年 3月31日	2024年 6月28日

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は、2024年11月14日付で両社の間で締結した株式交換契約に基づき、2024年12月27日を効力発生日として、プラコーを株式交換完全親会社、株式会社クラウドサービスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、当第3四半期連結累計期間において資本金が65,000千円、資本準備金が64,999千円増加し、当第3四半期連結会計期間末におけるの資本金及び資本準備金の額は以下となっております。

資本金	819,735千円
資本準備金	310,110千円

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、当四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、当第3四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しており、連結子会社の損益は含まれておりません。当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	
減価償却費	47,946千円
のれんの償却額	一千円

(企業結合等関係)

取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称：株式会社クラウドサービス(以下、「CS社」といいます)

事業内容：一般業務系システム開発、バンキングシステムの開発・保守・人材派遣

## (2) 企業統合を行った主な理由

企業をとりまく経済社会環境が大きく変化する中で、企業が価値創造を続け、市場において必要とされ続けるための変革の取組としてデジタルトランスフォーメーション(DX)の有用性は広く知られるよう

になり、日本国内企業のIT投資の動向は、増加を続けており、2024年度は60兆円、2025年度は70兆円、2026年度は約80兆円と今後更に増える事が見込まれております。(ガートナー調べ)。

一方、デジタル化に対する企業の課題では、人材不足(42.1%)の割合が最も多く、企業のDXの進展に伴う人材需要の高まりに追いついていない状態であり、デジタル人材の育成・確保は喫緊の課題となっております。(出典)総務省(2024)「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用動向に関する調査研究」

加えて、2022年末から始まったChatGPTの流行を始めとする生成AIの登場により、企業・産業において生成AIを利用して、様々な業務変革や事業変革が実現可能となってきており、生成AI時代のDX推進に必要なスキルを有する人材が求められております。

その様ななか、CS社は、中国人エンジニアを中心とした高度人材の採用力と教育ノウハウを有し、大手Sierに対してクラウドソリューションによる問題解決や多くの分野におけるソフトウェア開発を提供するテック企業です。

当社がCS社を子会社することにより、クラウド化やDXを推進する企業のIT投資需要に応じてまいります。

さらに、当社の既存事業である機械製造業では、デジタル化の進展(IoT・ビッグデータなど)、AI、生産技術(3Dプリンタなど)、ロボットなどの技術革新による変化に対応を迫られております。当社製品へ省力化・自動化機能を加えることによる顧客企業のコスト削減の実現へ貢献、データの収集・蓄積・分析・予測・制御・最適化といった一連の活動が出来る基盤の提供を目指して参ります。

一般のCS社の完全子会社により、当社の中核である成形機を成長分野へ展開すると共に、新たな領域に挑戦し、企業価値増加につなげてまいります。

(3) 企業結合日

2024年11月30日(みなし取得日)

2024年12月27日(株式取得日)

(4) 企業結合の法的形式

当社が株式交換完全親会社、CS社が株式交換完全子会社となる株式交換。

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、株式交換、現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	当社の普通株式時価	129,999千円
	現金	25,000千円
取得原価		154,999千円

4. 株式の種類別の交付比率及び現金対価並びにその算定方法並びに交付した株式数、現金対価の総額

(1) 株式の種類別の交付比率及び現金対価

株式会社クラウドサービスの普通株式1株：当社の普通株式314,0095株及び1株当たりの現金対価12,500円

(2) 株式交付比率の算定方法

独立した第三者算定機関である株式会社プレジストに株式交換比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき当事者間で協議の上、算定しております。

(3) 交付した株式数及び現金対価の総額

①交付した当社株式数 628,019株

②現金対価の総額 25,000千円

5. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 3,970千円

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

99,752千円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却します。

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	98,489千円
固定資産	<u>3,437千円</u>
資産合計	<u>101,926千円</u>
流動負債	46,679千円
固定負債	<u>－千円</u>
負債合計	<u>46,679千円</u>

## 3. 補足事項

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比 (%)
インフレーション成形機事業	1,025,721	15.2
ブロー成形機事業	203,932	25.9
リサイクル装置事業	21,368	△97.7
合 計	1,251,022	△45.8

(注) 金額は、販売価格によっております。

## 2 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)
インフレーション成形機事業	992,930	11.2
ブロー成形機事業	366,420	70.7
リサイクル装置事業	54,293	△82.5
合 計	1,413,643	△0.3

## 3 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比 (%)
インフレーション成形機事業	1,036,521	9.1
ブロー成形機事業	197,532	32.9
リサイクル装置事業	19,243	△98.4
メンテナンス事業	276,645	3.0
合 計	1,529,942	△41.3